

第 58 回町村議会議長全国大会 谷垣禎一自由民主党幹事長祝辞

ご紹介いただきました自由民主党幹事長の谷垣禎一でございます。自由民主党を代表してご挨拶を申し上げたいと存じます。全国町村議長会の皆様には、日頃より自由民主党の政策にご理解、ご協力を賜りまして、この場をお借りして心から御礼を申し上げたいと存じます。

また、一貫して我が党をお支えいただきまして、政党を代表してこの場にもお招きをいただいております。私どもは平成 21 年に野党に転落したわけですが、この演壇に立たせていただきますと、当時野党自民党の総裁として、いわば意気消沈をしておりました私どもに、この会場から熱烈な拍手のご声援をいただきまして、まだ我々も頑張らなければならないという思いにさせていただいたのも、この皆様のご声援でございました。改めて皆様に心から御礼を申し上げたいと思います。本当に有難うございました。

野党になりました当時、私は総裁として立党の原点に立ち返らなければならないという思いで、ふるさと対話集会というものをスタートさせました。国会議員が小さな集落を訪れまして、マイクを使わずに膝詰めで住民の方たちと意見交換をするという集会でございます。皆様のお地元でもふるさと対話を開催していただいたところが沢山あったのではないかと思います。

この取組みは政権に復帰してからも続いておりまして、今までにもう既に 600 回をはるかに超えております。地域に分け入ってきめ細かく住民の皆様の声を聞く経験、これは我が党の政策立案にあたって大きくその礎となったものでございます。

その基盤の上に議論されましたのが地方創生の基本理念を定めます「まち・ひと・しごと創生法案」でございます。我が党は現在、この法案は参議院で審議が続けられておりますが、早期成立を図る、これが今国会で一番大事な重要課題、このように考えております。法案の成立は地方創生に向けた第一歩でございますが、この法案に魂を込める作業を今私どもは皆様方と連携して進めなければならない訳でございます。地方の人口減少課題は目の前にある危機でございます。ともに克服していかなければならない問題であると考えております。

それから、来年度予算税制の論議がこれから我が党で本格化いたします。国と地方に厳しい財政状況がある一方で、デフレ脱却、経済再生に向けたさらなるカンフル剤も必要となる局面を考えますと、今年の税制改正は極めて厳しい議論が予想されるところでございます。皆様方がご心配の事項も多々あろうか

と存じますが、地方固有の財源を守り、地域の活性化、地方創生にマイナスと
なることがないよう、我が党はバランス感覚を大切にできちんと議論を進め
てまいりたいと考えております。

本日のご盛会、心からお喜び申し上げまして、自由民主党代表としてのご挨拶
とさせていただきます。日本の地域が本当に元気になっていきますように、
皆様とともに頑張りたいと思います。どうも今日はありがとうございました。

平成 26 年 11 月 12 日

自由民主党幹事長 谷 垣 禎 一